



中野P・たかちゃん @ 坂主宇音の



国際交流基金・日本語パートナーズ / インドネシア レポート

★到着直後号：2015年 9月20日

Selamat siang! みなさんこんにちは!

2015年8月23日より、インドネシアジャカルタに来ています。

到着直後号なのに、もう1か月経ってしまいましたが、到着してからの主に1週間の出来事を報告したいと思います!

私は今、国際交流基金が運営する「日本語パートナーズ派遣事業」のプログラムでインドネシアに来ています。これは2020年の東京オリンピックに向けて、日本をより多くの人に知ってもらい、日本ファンを増やそうという阿部総理の構想のもと、去年より開始されたプログラムで、私はその中でもインドネシアの高校の日本語の授業のお手伝いをしながら、地域の人と交流することを目的として来ています。

一言でいうと「小さな外交官」。

いろんな人に日本を知ってもらい、日本とインドネシアの友好の懸け橋になれるよう頑張りたいと思っています!
来年5月10日まで、インドネシアからレポートをしたいと思いますので楽しみに★

さて、到着して1週間は国際交流基金の研修施設で研修でした。

インドネシアの文化、イスラムについての講義があったり、銀行口座を開いたり、在留カードを作ったり、病気の時や緊急時の流れを確認したりと、これから現地で生活するにあたり最低限必要なことを学びました。スリヤひったくりには気を付けてという話はわかりますが、道に穴があいているから下もみながら歩いて!という話にはびっくりしましたが、実際急にコンクリートの道に穴が開いていたりします。危ない危ない。
到着して4日目にはこれから一緒に日本語を教えるパートナーの先生(CPと呼んでいます)との対面式があり、日本語とインドネシア語を交えながら今後のスケジュールについて話しました。

今回日本語パートナーズでは14人がジャカルタ地区に派遣、10人がバンドン、13人が東ジャワに派遣されています。ジャカルタ地区のメンバーは1人1担当がほとんどなのですが、私だけ2校担当だったため、学校間の調整もあり、やや話がややこしい展開に・・・。

結果、火曜日と水曜日は第37国立専門高校(SMKN37)、木曜日は隔週で第37国立専門高校(SMKN37)と第20国立専門高校(SMKN20)、金曜日は第20国立専門高校(SMKN20)に行くことになりました。どんな先生なのか会うまで不安でしたが、2校の先生2人ともとっても優しい先生で、また日本語も初中級(N4)レベルと聞いていましたが、とっても上手で想像していたよりコミュニケーションがとれたので安心しました。自己紹介ブックを使って家族紹介をしたら、とても興味も持って聞いてくれました。どの先生も父の写真をみて「seperti orang Amerika. (アメリカ人みたい)」と言っていたのが意外でした。そしてやはり、母と私が似ているのは世界共通のようでした(笑)

○CP（パートナーと先生）と。

第20国立専門高校（SMKN20）の日本語の先生：

アンガラ（Anggara）先生

24歳。まだ教師になって2年
だそうですがとってもまじめで熱心な
先生です。

3人兄弟の長男。



第37国立専門高校（SMKN37）の日本語の先生：

ダヤット（Dayat）先生

20代のころ静岡で5年ほど働いて
いたことがあり、日本の文化や習慣も
よく知っているベテラン先生です。

ひいおばあさんが日本人。

仕草が私のおじいちゃん

そっくりで運命を感じました。

○ジャカルタ地区派遣メンバー



大学生から退職されている方までさまざまな人がいます。
近くのモールにみんなでバティックを買いに行きました★



美味しい
ナシゴレン！

インドネシア
の
ホカ弁！



8月31日（月）、着任式のあと、CPの先生と一緒に今日から泊まるコス（アパート）へ移動。

先生が重たい荷物を部屋まで運んでくれました。また、ごみはどうしたらいいか、掃除のサービスはあるか、ふとんは借りられるか、洗濯やキッチンの使い方、Wi-Fiの設定のしかたなど、先生がコスの人に確認してくれて本当に親切にしてくれました。またそのあとは、今後必要なものの買い出しに付き合ってくれ、学校に着ていく先生用の服を選んでくれたり、シーツやタオルなどに日用品を買うのを手伝ってくれたり、そして帰りも買った荷物を部屋まで運んでくれたり。CPの先生に感謝、感謝の1日でした。

さあ、明日から学校です！

続きは9月号で！